

# 春の叙勲 受章おめでとうございます

令和2年春の叙勲受章者が発表され、本市から元日本郵政公社職員（特定郵便局長）の松崎義昭さんが受章されました。

瑞宝双光章（郵政事業功労） <sup>まつざき</sup>松崎 <sup>よしあき</sup>義昭 さん(70歳)

昭和49年4月に美深町の恩根内郵便局に採用。その後、北海道郵政局貯金部、旭川豊岡郵便局などを経て、昭和62年6月に名寄錦町郵便局長に就任。事務をこなしながらも、北上川地区郵便局長会会長や北海道地方郵便局長会会長、全国郵便局長会理事など歴任し、41年間にわたり全道、全国の郵政事業の発展や後継人材の育成などに尽力されました。

北海道は広大な面積であり、特に冬場などは自然環境も厳しい。さらに郵政民営化の波にも翻弄(ほんろう)され、業務は常に多忙であったものの、郵政サービスを維持・発展させることに傾注してきたと振り返られました。

受章にあたり「私一人の力ではない。力添えをいただいた地域の方々や諸先輩、仲間、サポートしてくれた家族のおかげです。」と感謝を述べられ、また、現在でも名寄地方納税貯蓄組合連合会長や民生委員児童委員などを務められ、「これからも地域に恩返しできるように、微力ながら頑張っていきたい」と謙虚に述べられました。



※今回の叙勲で、看護業務功労として瑞宝双光章を受賞された方がおられます。ご本人の意向により、氏名等掲載はいたしません。ともに受章にあたっての喜びのご報告とさせていただきます。

## 新型コロナに立ち向かう名寄市内企業の活動を紹介

### 名寄青年会議所



新型コロナウイルスにより自粛ムードが続く中でも頑張っている市内飲食店を応援すべく、市内飲食店のデリバリー&テイクアウト情報を簡単に検索できるWEBサイトを構築。詳しくは次の二次元コードを読み取りください。



### 株式会社もち米の里ふうれん特産館



当館では、500mlのペットボトルに入った次亜塩素酸水を2日間合計1000本、訪れた利用者に無料で配布しました。少しずつマスクや消毒液などの衛生品も購入できる状況になってきているものの、それでもまだ十分ではないため、手に取られた来館者は、安堵の表情を浮かべていました。